



【法人の理念・目的】

NPO 法人ホップすてーしょんは、「みんなちがってみんないい」ノーマライゼーション社会を目指して結成された法人です。私たちは、障害のある人も障害のない人も、その違いを認め尊重し合い知恵を出し合う中で、新しい絆を結び地域社会を再生することができると思っています。

【支援方針】

- ❖ 療育支援の提供： 主に小学校や中学校の子どもたちが、コミュニケーションやソーシャルスキルを学びながら、学習も含めた自立ができるように支援します。友だちといっしょに遊ぶ、勉強するといった放課後の過ごしの中で、上手に遊べない、読み書きできないといった困難さに対し、視覚支援や構造化、多感覚アプローチといった支援を、検査などの根拠に基づき適切に行います。
- ❖ 保護者との協働： 学校や家庭の様子を、本人や家族が職員と気軽に共有できる関係づくりに努めます。その上で、本人の学校や家庭での悩み、家族の悩みなどが解決できるよう、または生まれないよう、子どもの課題や支援方法を保護者と共有し、助言・サポートを行います。
- ❖ 地域との連携： 主に保護者の要望に応じ、学校などの地域関係機関と連携を行います。必要に応じて、子どもの課題や支援方法を関係機関と共有し、協力しながら支援を行います。

【活動の流れ】例

【営業時間／サービス提供時間】

営業時間：学校がある日(長期休みを除いた平日)11時30分～20時00分

学校がない日(土祝、長期休みなどの平日)9時30分～18時30分

サービス提供時間：学校がある日 授業終了後～19時30分

学校がない日 10時～16時

【送迎】基本は下記の通り（利用者により下記に限らない 要相談）

学校がある日(小学生) 授業終了後に学校迎え 17時～18時30分の間で自宅送り

(中学生) 授業(部活)終了後に学校迎え(自己通所) 20時まで自宅送り

学校がない日 9時30分～10時の間で自宅迎え 16時～18時30分の間で自宅送り

学校がある日		学校がない日	
14:00	学校迎え	9:30	自宅迎え
15:00	学校迎え・学習 おやつ	10:00	午前の取り組み (集団遊び、学習)
16:00	学習・集団遊び	12:00	昼食
17:00	自宅送り・学習 中学生迎え(自主登所)	13:00	学習
18:00	自宅送り・学習	14:00	午後の取り組み
19:00	学習・集団遊び	15:00	おやつ・自由時間
19:30	自宅送り(中学生)	16:00	自宅送り
		17:00	自宅送り(延長対応)
		18:00	自宅送り(延長対応)

【本人支援で大切にしていること】

健康状態、生活リズムや生活習慣、身辺自立などを保護者から聴取したり観察したりします。睡眠や食事といった基本的生活習慣の安定を図り、子どもの発達や成長に大事な土台を育てていきます。

また、学校生活や卒業後の自立を目指して、生活上の困りごとを様々な角度からの評価をもとに具体的な助言ができるよう努めています。事業所の中でも、子どもが自分で荷物を整理したり帰る準備をしたり、自分の課題(宿題など)が自分でできたり、自由時間で自分の好きな事を選んで過ごせたりできるよう、支援しています。

人間関係・社会性

家族や学校の先生、友だちと言った、子どもがそれまでに培ってきた人間関係を大事にしなが、事業所で出会う普段は会わない大人(職員)や友だちと人間関係を築いていきます。信頼できる大人や友だちを増やしていく中で、必要に応じて視覚支援を行いながら、大人や友だちとの約束が分かり、約束を守れた経験を積んでいけるようにします。そして学校生活を始め、進学先などで必要な社会性(社会スキル)を身に付けられるように支援します。



運動・感覚

子どもの成長や特性に合わせて、公園での遊具遊びや集団遊びに取り組み、体幹を鍛えるなどの健康な身体づくりができるようにします。そのほか、移動できる手段を増やす取り組みとして、バスや電車などの公共交通機関の利用や、自分たちで行先や経路を調べて外出するなどの活動も行っています。

言語・コミュニケーション

集団遊びなどで友だちとやりとりできることを増やすとともに、自立のために必要不可欠な援助要求の力を育てます。子どもの成長や特性に合わせて、必要に応じて視覚支援を行いながら、コミュニケーションスキルのトレーニングを行います。また読み書きに苦手さがある子どもには、どうして苦手かを検査などの根拠をもとに考え、多感覚アプローチで本人に合う学習方法を検討し、本人が選んで自分で学習できるように支援します。

認知・行動

周囲の環境や人、物などからどのような情報を得て行動したり過ごしたりしているのかを見ながら、子どもの成長や特性に合わせて環境をわかりやすくし、できることやわかることを増やしていきます。お子さんの理解の仕方については、集団活動や個別課題に取り組む中での行動観察、検査や保護者の聴取からインフォーマルアセスメントをしています。理解だけでなく、それぞれのお子さんが興味を持っていることやモチベーションが持てるポイントを意識し、前向きにチャレンジしたり意欲的に活動したりできるようにしています。

【家族支援】

お子さんの特性や発達の状態を保護者と共有していきます。
家庭や学校など地域での様子をお聞きした上で、取り組みや自由時間の様子から、専門的な立場での知見をお話しさせていただいたり、保護者とお子さんについての“なんで？”“どうすれば？”を一緒に考えていきます。
必要に応じて、個別的な相談や面談、家庭訪問等も行っています。

【主な行事等】

入学・卒業の時期や季節のイベントに合わせて、工作や調理活動などを行います。活動を通じて、どの子どももが季節を感じたり、お祝いしたりといった経験ができるよう、一人ひとりに合わせて工夫します。

【職員の質の向上】

日々の職員間のコミュニケーションの中で、お子さんの支援について話し合っています。
個別支援計画作成時にはアセスメント会議を行い、支援の振り返りと共に、お子さんと家族にとって必要なことが何かを検討します。
また、法人の3事業所とは月に1回程度研修・会議を行い、互いの事業所の支援を共有しながら支援スキルの向上を図っています。

【地域支援・地域連携】

主に保護者のご要望や学校・学童からのご要望、または状況に応じて相談専門員さんと連携しながら学校訪問、受診同行等をさせていただきます。療育の中だけで支援が完結するのではなく、お子さんの学校・学童での生活やご家族の暮らしがより豊かになるよう様々な機関と連携を図りながら支援を進めていきます。

【移行支援】

学童保育への移行や、学校卒業後の進学、就職といったライフステージの変化を踏まえ、保護者の要望に応じながら、学童保育や進学先、就職先と必要な連携を行います。移行後や卒業後を見据え、お子さんの生活やご家族の暮らしがより豊かになるように支援していきます。

作成年月日
: 2025 (令和7) 年 2 月 20 日

